

## 事業報告附属明細書

### ➤ 正味財産増減計算書（内訳表）会費の振り分けに関して

本年度も昨年度に引続きコロナ禍での運営となりました。

大部分を公益目的事業に充てることとなった本年ですが、公益目的事業での実質費用は従来に比べ減少していること、また収益等事業のうち共益事業がほぼ行えなかったこともあり、会費の振り分けは以下の通りとした。

公益目的事業 70%（前年度:75%）

共益目的事業 5%（前年度:10%）

法人会計 25%（前年度:15%）

### ➤ 正味財産増減計算書（内訳表）費用配布割合に関して

事業報告に記載した通り、2021 年度はほぼ公益事業に費やした年となりました。公益法人では費用項目を公益目的事業・収益等事業・法人会計に按分して記載（人件費等はその事業への従事した割合・家賃やPC等はその事業に使用している割合・そしてある事業に直接関連するものは直接費用）しています。

本年度は、コロナ禍の影響にて会場費や講師への謝礼など実際に外部へ支払う金額が減少しました。しかし逆に協会内（会員社の皆さんの協力や事務局）の業務量は増加しました。ZOOMを主体とするセミナー準備（シナリオ作成・集客告知作成）や各種情報の収集・発信、学生向けコンテスト等でのデータ整理等、外部に依頼することなく実施していたのが実際です。

本年度はこの実態に合わせ、配布割合は以下のように按分いたしました。

		公益目的事業	収益等事業	共益事業	法人会計		
人件費	専務理事	95% (85%)	0% (5%)	0% (5%)	5% (5%)	従事割合	
	事務局長	90% (85%)	2% (5%)	2% (5%)	6% (5%)	従事割合	
	派遣: 経理・総務	85% (85%)	2% (5%)	2% (5%)	11% (5%)	従事割合	
家賃	家賃・光熱費	85% (85%)	2% (5%)	2% (5%)	11% (5%)	使用割合	
	通勤交通費	90% (85%)	2% (5%)	2% (5%)	6% (5%)	従事割合	

( )内は従来の比率

※リース料は従来を踏襲し、その他の費用は、ある事業に関連した直接対応費用となっています。

### ➤ 事業費における事務消耗品に関して

予算 37,000 円に対し、451,837 円となりましたが、その内訳はデータの扱いが増え、現在の PC では容量が足りず新規で PC の購入、また 20 年度に購入した Mac ソフトの更新料にて411,950 円。残りの 39,887 円が事業に費やしたものとなります。なお、PC 関連費用は学生向けコンテストのデータ整理など、公益事業に費やす目的にてその全額を公益事業に配賦しています。